

院内トリアージ実施料の算定開始について

当院では、令和 2 年 11 月 1 日から、「院内トリアージ実施料」の算定を行っております。

院内トリアージとは、緊急度の高い患者様を優先して診療を行う体制です。

ご来院時には、看護師等が患者様の状態を確認し、緊急度の判定を行います。その結果に基づき、緊急度の高い方から順に診察いたしますので、診察の順番が前後することもございます。あらかじめご了承ください。

また、待ち時間が長くなる場合には、一定時間ごとに再度緊急度を確認させていただき、できる限りご負担のないよう努めてまいります。

なお、待ち時間中に症状の変化がございましたら、遠慮なくお申し出下さい。

院内トリアージの実施基準等の詳細については、以下をご参照ください。

＊時間外・夜間・休日の時間帯については、院内トリアージ実施料を算定させていただきます。何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

平日：17：00以降

第2・第4・第5土曜日：12：30以降

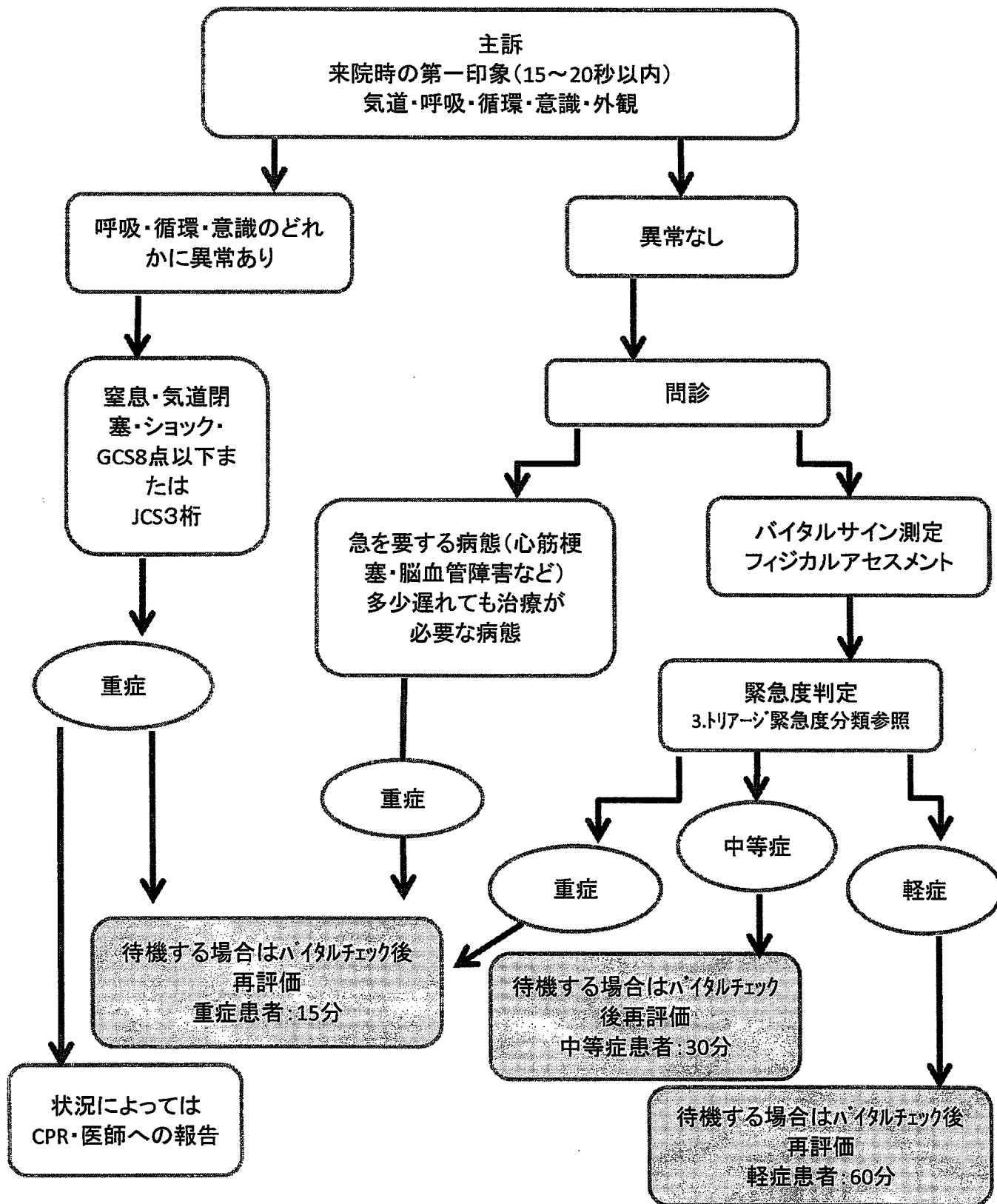
日曜日・祝日

白河厚生総合病院

3. トリアージ緊急度分類

トリアージ区分	JTAS 緊急 レベル	症状
重症	レベル 1	☐ 心肺停止 ☐ 気道閉塞(窒息) ☐ ショック ☐ 痙攣重責 ☐ 高度の意識障害(GCS8 点以下・JCS3 桁以上) ☐ 多発外傷 ☐ 息切れ(重篤な呼吸障害/SpO2:90%以下)
重症	レベル 2	☐ 共通(持続する、冷汗を伴う) ☐ 高血圧(収縮期血圧 220 mm Hg 以上、または拡張期血圧 130 mm Hg 以上であり、症状を伴うもの) ☐ 低体温(深部体温 32℃以下) ☐ 頭痛(突然発症・激しい・今まで最悪な痛み) ☐ 麻痺などの脳卒中の疑い(3 時間以内) ☐ 吐血・下血 ☐ 目の熱傷 ☐ 3 か月以下の小児の発熱 ☐ 息切れ(中等症の呼吸障害・SpO2:92%以下) ☐ 腹痛(重篤な疼痛:スケール 8~10/10) ☐ 意識障害(GCS10~13) ☐ 発熱(腋窩体温 38.5℃・敗血症) ☐ 奇妙な行動(逃走の恐れまたは、安全が確保されない状態) ☐ 抑うつ状態/自殺行為 ☐ 症状のある高血糖・低血糖
中等症	レベル 3	☐ 痙攣(痙攣はとまり、正常レベルに覚醒している状態) ☐ 高血圧(収縮期血圧 220 mm Hg 以上、または拡張期血圧 130 mm Hg 以上であるが、症状を伴わないもの) ☐ 下痢(血性下痢が続く状態) ☐ 抑うつ状態/自殺行為(希死念慮はあるが具体的計画のないもの) ☐ 息切れ(軽度の呼吸障害・SpO2:93~94%) ☐ 腹痛(中等度の痛み 4~7/10) ☐ 頭痛(中等度の痛み 4~7/10) ☐ 頭部外傷(意識消失あり) ☐ 上肢の外傷(明らかな変形あり) ☐ 四肢の脱力・脳血管障害の症状(3 時間以上または症状軽快)
中等症	レベル 4	☐ 上肢の外傷(ギプスがきつい状態だが神経・血管障害を伴わない) ☐ 尿路感染症の症状(軽度の排尿障害) ☐ 便秘(軽度の腹痛<4/10) ☐ 不穏状態(慢性的、普段の状態と変化なし) ☐ 不性器出血(少量の出血) ☐ 裂傷・刺傷(縫合を要するもの) ☐ 熱傷(表在性・全層性で体表面積の 5%未満・表在性で体表面積の 10%未満)
軽症	レベル 5	☐ アレルギー反応(花粉症による鼻閉) ☐ 軽度の咬傷(軽度の疼痛<4) ☐ 包帯交換(バイタルサイン正常・軽度の疼痛<4) ☐ 処方希望 ☐ 裂傷・刺傷(縫合の必要がないもの) ☐ 局所の腫脹・発赤

4. トリアージの流れ



・来院時の第一印象で緊急度が高ければ、受付を待たずに処置を実施する

・患者情報は常に医師・スタッフ間で共有する